2026(令和8)年度 東京電機大学
特別選抜(編入学/指定校方式)
事前提出型課題

この事前提出型課題は、本学の特別選抜(編入学/指定校方式)への志願者に課す課題で、出願提出書類の一部です。出願時までには解答し、出願提出書類とともに提出してください。出願にあたっては、入学者選抜要項も必ず確認してください。

この資料には、募集を行う全ての学部・学科・学系の事前提出型課題が収載されています。

必ず自身が出願する学部・学系の課題のみ解答してください。

選択問題ではありませんので、誤って別の学部・学科・学系の課題に解答しないように注意してください。

課題の内容に関する問い合わせは、原則受け付けません。ご自身で考えて解答してください。

生成系 AI の出力や、web ページ、書籍などの記載を不適切に使用し、自分の成果(提出物)とすることは不正行為にあたり認められません。

事前提出型課題の内容や課題文等の転載、SNS 等への書き込みは固く禁じます。

自分が出願する学部・学科・学系の課題のみ解答すること

未来科学部 建築学科

志 望 先	学 部	未来科学部
	学 科	建築学科
氏 名		

[課題]

【暮らしの中の「建築的不具合」と向き合う】

■ 事前準備

- 1) 建築物は、長く安全に使い続けるために、定期的な維持管理や修繕が欠かせません。
- 2) あなたが現在住んでいる住宅、または過去に住んだことのある住宅において、**建築的不具合(例:雨漏り、床のたわみ、断熱性の低さ、騒音、設備不調などのトラブル)**が発生した具体的な事例を1つ挙げてください。
- 3) その不具合が、どのように発見され、どのように修繕されたか、思い出してください。

■ 提出物

- A) あなたが選んだ建築的不具合について、以下①～④に触れつつ、800字程度でまとめたレポート
- ① どのような建築的不具合だったか
 - ② その不具合をどのように修繕・対応したか
 - ③ なぜあなたはその不具合の事例を選んだのか
 - ④ その出来事を通して、建築の維持管理に対してどのような学びや気づきがあったか
- B) 対象となる住宅の簡単な平面図を描き、不具合のあった箇所を明示してください(手描き可、A4片面)
- C) その建築的不具合の修繕に関して、「誰が」「何を以て」「どのように」対応したかを、スケッチと簡潔な文章を組み合わせで説明してください(A4片面、手描き)

[提出形式に関する注意]

1. 提出物 A については、任意の A4 サイズの用紙(片面使い)で作成すること。字数については課題文の指示に従うこと。提出物 B および C については、それぞれ任意の A4 サイズの用紙(片面使い)で作成すること。
2. 提出物 A は黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。提出物 B および C は鉛筆等を用いてもよい。
3. 必ず全てのページにページ数を記入すること。
4. 本文とは別に、この課題用紙を印刷し、「氏名」の欄を記入したうえで表紙として使用すること。
5. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では留めないこと。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

未来科学部 情報メディア学科

志 望 先	学 部	未来科学部
	学 科	情報メディア学科
氏 名		

〔課題〕

前提：

あなたは、複数路線が乗り入れるターミナル駅において、大規模な施設改修の提案をするコンサルタントです。特定の駅利用者（ユーザ）を支援することを目的として以下の課題に取り組みなさい。

課題：

「駅構内や駅周辺においてデジタルサイネージと複数の情報メディア技術を用いたユーザ支援システムの提案」

形式等：

図表や参考文献含め、A4 用紙 4～5 枚のレポート形式で作成すること（PC による作成を推奨）。

以下の（A）から（D）の項目を具体的に記載すること。

- （A）デジタルサイネージシステム名
- （B）目的
- （C）対象ユーザ、利用場所、解決手法、および期待される効果
- （D）活用する情報メディア技術技術群※

※（D）の説明として以下に記載する技術名を用いて説明しても構いません。またここに挙げられていない独自の技術を採用しても構いません。

- 情報技術（例：5G 通信、生成 AI、文章処理、機械学習）
- メディア表現技術（例：XR、空間投影、3D 表現、骨格認識、空間音響）
- デバイス技術（例：IoT、ウェアラブル機器、3D-LiDAR）

〔提出形式に関する注意〕

1. 任意の A4 サイズの用紙(片面使い) **計4枚以上、5枚以内** で作成すること。
2. 黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。またはパソコンで作成したものを印刷してもよい。
3. 必ず全てのページにページ数を記入すること。
4. 本文とは別に、この課題用紙を印刷し、「氏名」の欄を記入したうえで**表紙として使用すること**。
なお、表紙は指定枚数に含めない。
5. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では**留めないこと**。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科

〔課題〕

以下の問いに対して、それぞれ 300 字以上で解答し、1～3 の全体で 1200 字以上 1600 字以内に収めること。

1. 「メカトロニクス」の定義を示し、メカトロニクス技術が社会の中でどのように役立っているかを述べなさい。
2. 大学でメカトロニクスを学ぶにあたり、その基盤となる科目が数学である。その重要性を、メカトロニクスとの関わりを含めて述べなさい。
3. メカトロニクス技術者は、様々な技術分野の技術者と協業することが多い。異なる背景をもつ人々と円滑にコミュニケーションを図るために、あなたがどのようなことを心がけ、実践したいと考えているか、自らの体験をもとに述べなさい。

〔提出形式に関する注意〕

1. Web サイトの特別選抜(編入学/指定校方式)専用ページに掲載の「**指定解答用紙**」(Word または PDF ファイル、A4 サイズ)を使用し、**計 1200 字以上、1600 字以内**で解答すること。なお、表紙を付ける必要はない。
2. パソコンで解答する場合は、Word ファイルで作成したものを印刷すること。手書きで解答する場合は、PDF ファイルを印刷し、黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。
3. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では**留めないこと**。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

工学部(全学科共通)

〔課題〕

持続的な発展を維持するために、大量生産・大量消費・大量廃棄が一方向に進むリニアエコノミー(線形経済)に代わって、あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を目指す社会経済システム、サーキュラーエコノミー(循環経済)という考え方が提案されています。

- (1) すでに実現しているサーキュラーエコノミーに資する科学技術や取り組みを挙げ、具体的に説明してください。
- (2) まだ実現していないが、今後実現が不可欠だと考えるサーキュラーエコノミーに資する科学技術について一例を挙げて、なぜそれが必要であるかと考えるのか述べてください。

〔提出形式に関する注意〕

1. Webサイトの特別選抜(編入学/指定校方式)専用ページに掲載の「指定解答用紙」(WordまたはPDFファイル、A4サイズ)を使用し、計1200字以上、1600字以内で解答すること。なお、表紙を付ける必要はない。
2. パソコンで解答する場合は、Wordファイルで作成したものを印刷すること。手書きで解答する場合は、PDFファイルを印刷し、黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。
3. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では留めないこと。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

理工学部 理工学科 生命科学系

志 望 先	学部・学科	理工学部 理工学科
	学 系	生命科学系
氏 名		

〔課題〕

あなたのこれまでの活動や今後の目標、計画に関して、下記項目に分けてそれぞれ具体的に記しなさい。

- (1) これまでの活動歴
- (2) この活動内容を「本学生命科学系での学び」にどのように活かすか？
- (3) 今後の目標とそれをどのように実現する計画か

分量は「提出形式に関する注意」を参照し、規定内の枚数に収めてください。

〔提出形式に関する注意〕

1. 任意の A4 サイズの用紙(片面使い) **計3枚以上、5枚以内**で作成すること。イラスト、写真、図、グラフなど文章以外の表現を含めてもよい。
2. 黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。またはパソコンで作成したものを印刷してもよい。
3. 必ず全てのページにページ数を記入すること。
4. 本文とは別に、この課題用紙を印刷し、「氏名」の欄を記入したうえで**表紙として使用すること**。
なお、表紙は指定枚数に含めない。
5. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では**留めないこと**。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

理工学部 理工学科 機械工学系

〔課題〕

身の回りにある機械システム（例：自動車、家電製品、電動工具など）を一つ挙げ、その中で用いられている主な機械要素の構造・機能・役割についてまとめてください。高専で学んだ知識や経験を踏まえ、省エネ化、耐久性向上、コストダウンなどの観点から改善点や工夫の提案をしても良い。

※参考にした文献（新聞や書籍など紙媒体、Web など）や情報があれば、出典を明記すること。

〔提出形式に関する注意〕

1. Web サイトの特別選抜(編入学/指定校方式)専用ページに掲載の「**指定解答用紙**」(Word または PDF ファイル、A4 サイズ)を使用し、**計 1200 字以上、1600 字以内**で解答すること。なお、表紙を付ける必要はない。
2. パソコンで解答する場合は、Word ファイルで作成したものを印刷すること。手書きで解答する場合は、PDF ファイルを印刷し、黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。
3. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では**留めないこと**。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

理工学部 理工学科 電子情報・生体医工学系

志 望 先	学部・学科	理工学部 理工学科
	学 系	電子情報・生体医工学系
氏 名		

〔課題〕

以下の問いに解答しなさい。解答用紙は任意の A4 サイズの用紙で 3 枚以内とし、本文は設問 (1)、(2) ともに 600 文字以上で記述すること。図表なども用いた場合は必ずその説明を本文に含めること。調査にあたって用いた書籍、文献、ウェブサイトなどの出典情報は、本文とは別の用紙にまとめ、本文で用いた順に一括に記載しなさい。

- (1) 本学系に編入学するにあたって、あなたはどのような目的意識を持ち、それを学生生活の中で実行していくつもりなのか説明してください。
- (2) 本学系に編入学し、あなたが身に付けたい、あるいは研究したい内容を面接試験でお聞きします。電子工学、情報工学、生体医工学のいずれかの分野に関して、あなたが面接試験で話したい内容について記述してください。その内容に基づいて質疑応答を行います。

〔提出形式に関する注意〕

- 任意の A4 サイズの用紙(片面使い) **計3枚以内**で作成すること。(1)、(2)の全体で計 1200 字以上、1600 字以内に収めること。字数や図表、イラストについては課題文の指示に従うこと。
- 黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。またはパソコンで作成したものを印刷してもよい。
- 必ず全てのページにページ数を記入すること。
- 本文とは別に、この課題用紙を印刷し、「氏名」の欄を記入したうえで**表紙として使用すること**。
なお、表紙は指定枚数に含めない。
- 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では**留めないこと**。

自分が出願する学科・学系の課題のみ解答すること

理工学部 理工学科 建築・都市環境学系

〔課題〕

建築・都市環境分野は、地球規模の環境問題や人口減少・高齢化、防災・減災、まちの活力の維持など、多様かつ複雑な課題に直面しています。これらの課題の解決には、単なる技術力だけでなく、社会や他者の立場を理解し、責任を持って行動できる人間性、そして継続的に学び続ける姿勢が求められるものです。

これまでにあなたが学んできた知識や技術を踏まえ、以下の問いに答えなさい。

1. 建築・都市環境分野が現在直面していると考えer課題を一つ挙げ、その理由を述べなさい。
2. あなたがこれまでに身につけた知識や技術の中で、その課題の解決に役立つと考えるものを挙げ、具体的にどのように役立つかを述べなさい。
3. その課題を解決するために、これから身につけたい専門的な知識や技術について、どのように学び、どのように活かしたいのかを述べなさい。
4. 建築・都市環境分野の課題を解決するために、技術力だけでなく人間性も重要である理由について、あなた自身の考えを述べなさい。

※ 参考文献は、明記すること。

※ 課題の説明には、図表を用いてわかりやすく示すこと。

※ 各設問の解答は、350字～400字を目安とすること。

〔提出形式に関する注意〕

1. Webサイトの特別選抜(編入学/指定校方式)専用ページに掲載の「**指定解答用紙**」(WordまたはPDFファイル、A4サイズ)を使用し、**1200字以上、1600字以内**で解答すること。なお、表紙を付ける必要はない。
2. パソコンで解答する場合は、Wordファイルで作成したものを印刷すること。手書きで解答する場合は、PDFファイルを印刷し、黒ボールペンで記入すること(消せるボールペンの使用は不可)。
3. 製本したりステープラー(ホチキス)、クリップ等では**留めないこと**。